

## 1

## 高砂香料工業株式会社

	各社の考え方
① 算定を行う背景・目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 当社グループでは、2022年度から新たなサステナビリティ計画である「Sustainability2030」を開始しました。当計画では温室効果ガス削減も含まれていますが、排出責任がサプライチェーンまで拡大する傾向に対応するため、Scope3算定を実施しています。Scope3算定を実施することで、企業活動の実態を把握し、更なる環境活動が推進できると考えています。</li> <li>● 気候変動対策を推進するためには、サプライチェーン全体の排出量を把握することが必須と考えております。また、社会的にも、排出量及び削減目標を開示することが求められており、企業として社会的責任に応えるためにもScope3算定を実施しています。</li> </ul>
② 算定結果の活用方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ステークホルダーへの情報開示。</li> <li>● 削減に向けた取り組み課題の把握及び成果評価。</li> <li>● SBTといった長期的な目標を設定・管理する際の基礎情報として使用。</li> </ul>
③ 算定のメリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 定量的な評価を行うことによって、自社排出量だけではなく、サプライチェーン、バリューチェーンにおける企業活動の把握が可能となります。よって、削減対策を講じる対象が明確となり、業務効率化を推進することができると考えています。</li> </ul>
④ 社内の算定体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>全体のデータ取り纏め：本社 安全統括本部 安全管理部 EHS室</b></li> <li>✓ 安全統括本部にて、グローバルEHSマネジメント体制を整備しており、各国製造拠点のEHS部門のマネージャーが自社排出量を算出し、本社・EHS室にてデータの算定支援及び管理を行っております。</li> <li>✓ Scope3は、サプライチェーン関係部署とEHS室が連携しながら算出作業を実施しています。</li> </ul>

## 2

## 高砂香料工業株式会社

	各社の考え方
⑤ サプライチェーン排出量の削減に向けて	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 支援事業の開始時点では、scope3においては、カテゴリ1(購入した製品・サービス)やカテゴリ3(scope1、2に含まれない燃料およびエネルギー関連活動)などが算定できておりませんでした。これら未算定カテゴリの算定を行ったことにより全体像の把握が進みましたので、今後、具体的な削減方法の検討を行う予定です。例としてはサプライヤーエンゲージメント活動、物流網の再整備などを通じ削減していくことなどを検討しています。</li> <li>● 尚、2022年度、環境省様の「サプライチェーンの脱炭素化推進モデル事業」に当社グループがモデル企業として選定されました。現在、削減施策の検討や実行計画の策定を実施しています。</li> </ul>
⑥ サプライチェーン排出量算定の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 活動量を算定しているカテゴリについては、業務の実態を反映し、今後は業務改善に活用できるよう、算定基準をルール化する等により更に算定精度を上げていく必要があります。</li> <li>● 算定作業を通して、当社グループ内共通認識・手法をグローバルにおいて構築する必要があると考えています。</li> <li>● 一部のカテゴリについては、金額ベースの活動量を使用しており、これは削減取り組みの成果が反映しにくいと考えています。</li> </ul>
⑦ その他 (任意)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● SBT認定取得の準備のため、2019年度データについて、第三者による排出量検証を受けました。その結果、海外拠点の算定方法の見直しによりカテゴリ4の排出量が大きく減少するとともに、カテゴリ1の排出割合が大きく増加しております。</li> <li>● 尚、第三者検証を受けた2019年度データを元に、当社グループの排出削減目標は2021年5月にSBTとしてSBTイニシアチブより承認されています。</li> </ul>

# 3

## 高砂香料工業株式会社

カテゴリ	算定方法	※算定対象期間：2021年4月～2022年3月
	活動量	原単位
カテゴリ1「購入した製品・サービス」	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 原料、包材等の調達金額または重量</li> <li>● 事務用品等の調達金額</li> <li>● 外部委託等による製造</li> </ul>	● SC-DB、IDEA、独自
カテゴリ2「資本財」	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 設備投資額</li> </ul>	● SC-DB
カテゴリ3「Scope1,2に含まれない燃料及びエネルギー活動」	<ul style="list-style-type: none"> <li>● エネルギー種別毎の使用量</li> </ul>	● SC-DB、IDEA
カテゴリ4「輸送、配送（上流）」	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 製品出荷量/輸送距離（輸送モード別）</li> </ul>	● トンキロ法 SC-DB、IDEA
カテゴリ5「事業から出る廃棄物」	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 一般/産業廃棄物排出量</li> </ul>	● SC-DB、IDEA
カテゴリ6「出張」	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 従業員数</li> </ul>	● SC-DB
カテゴリ7「雇用者の通勤」	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 移動手段別の距離と従業員数</li> </ul>	● IDEA
カテゴリ8「リース資産（上流）」	● 除外（本社ビルはリース資産に該当するが、活動量はScope1・2に含まれている）	
カテゴリ9「輸送、配送（下流）」	● 除外（当社製品は、中間製品であり、最終製品を製造するための原料として多様な用途で使用されている。加えて、当社の製品の使用量は最終製品において非常に低いため、合理的な排出量の推計が不可能であるため）	
カテゴリ10「販売した製品の加工」		
カテゴリ11「販売した製品の使用」		
カテゴリ12「販売した製品の廃棄」	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 包材の使用量</li> </ul>	● SC-DB,IDEA
カテゴリ13「リース資産（下流）」	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 所有する不動産の用途および面積</li> </ul>	● SC-DB
カテゴリ14「フランチャイズ」	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 該当活動無</li> </ul>	
カテゴリ15「投資」	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 該当活動無</li> </ul>	
「その他」	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 算定予定無</li> </ul>	

## 4

## 高砂香料工業株式会社

## サプライチェーン排出量算定結果

カテゴリ	カテゴリ名	排出量 [CO2e-t]	割合 [%]
カテゴリ1	購入した製品・サービス	831,001.673	92.03
カテゴリ2	資本財	22,705.950	2.51
カテゴリ3	Scope1,2に含まれない 燃料及びエネルギー関連活動	12,842.959	1.42
カテゴリ4	輸送、配送（上流）	22,323.357	2.47
カテゴリ5	事業から出る廃棄物	6,564.177	0.73
カテゴリ6	出張	488.280	0.05
カテゴリ7	雇用者の通勤	4,325.536	0.48
カテゴリ12	販売した製品の廃棄	2,634.784	0.29
カテゴリ13	リース資産（下流）	66.978	0.01
合計		902,953.694	100.0